

## 「品種情報提供事業」の背景と目的

- 多様化・高度化するニーズに対応するため、実需者等のニーズを踏まえた品種を迅速に提供することが重要。
- しかしながら、新たな品種育成には長時間を要することから、実需者等のニーズに迅速に対応することが困難な場合がある。
- 一方、試験研究機関等は、特徴のある品種や系統を多数有しているものの、実需者等への情報が十分に提供できず、これらの品種等が十分に活用されていない場合がある。
- 本事業は、特徴のある品種等の情報を集約するとともに、実需者等がアクセスしやすい状態に整理し、実需者等が求める品種を迅速に提供する仕組みの構築を推進。

### 通常の育種

試験機関等で育種目標を設定

交配・選抜

将来、ニーズ  
が変化するお  
それ

10年程度

多くの系統の中から育種目標に合致した  
ものを選抜

地域への適応性試験等を実施し、品種化

### 既存品種の活用

試験研究機関等が有する提供可能な品種・系  
統の情報をデータベースに集約・一元化

実需者等は上記データベースや品種マッチン  
グミーティング等から求める特性を持つ品種  
情報を入手

1年～3年

実需者のニーズに合致した品種を、種苗の増  
殖・農産物の生産等を行い、迅速に提供